

## 緊急提言

# 栄養経営士の知識とスキルで この危機的状況を乗り越えよう！

今年1月16日に国内で初の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の陽性患者が確認されてから3カ月、いまだ新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の勢いは止まらず、収束はおろかますますピークがいつかもわからない状況です。医療崩壊の危機も懸念されるなか、管理栄養士として、栄養経営士として、この事態にどう立ち向かえばよいのか。当協会の宮澤靖代表理事からのメッセージをお伝えします。

「正しい知識をもって怖がること」が重要

昨今のCOVID-19の感染拡大に伴い、不要不急の外出の自粛や全国に拡大した緊急事態宣言など、会員の皆様はとても不安な日々を過ごされているのではないかと思います。

そこで、まず皆様にお願したいのは、医療従事者のひとりとして「正しい知識をもって怖がってほしくない」ということです。

たしかにCOVID-19は非常に怖い感染症のひとつで、たく

さんの尊い命が失われ、毎日多数の新規陽性患者が出ています。

しかし、必要以上に怖がることはありません。

私の勤める東京医科大学病院は特定機能病院ですので、政府の要請でCOVID-19患者の受け入れ病棟をつくっています。それに先立ち、感染症の専門医が行う勉強会が院内の全職員を対象に行われました。また、私はその病棟を担当する管理栄養士として、標準予防策の研修も受けました。それに則り、日々

正しい知識があれば、無駄に怖がることはありません。どうぞしっかりと情報収集を行ってください。

COVID-19患者と対面し、仕事をしています。一般社団法人日本環境感染学会発表のガイドライン(\*)に沿って、食事は食器で提供し、通常の洗浄をしています。食事での感染例はないので、特別な対応もしていません。

正しい知識があれば、無駄に怖がることはありません。どうぞしっかりと情報収集を行ってください。

ピンチをチャンスに今こそ栄養の出番！

外来栄養指導件数の減少や病棟への立ち入り制限など、栄養部門は今ピンチを迎えています。しかし、このピンチはチャンスに変えられるのではないかと私は考えています。

感染症に罹るのは、免疫力の低下によるものです。きちんと休息をとり、栄養をとって

自己免疫を上げることが、感染拡大の予防には非常に大切です。

私たち管理栄養士は院内唯一の栄養専門職として、患者や国民の免疫力を上げられる栄養の提供のために、今こそ最前線に出て主治医や看護師とともに戦うべきではないでしょうか。私も手を挙げて最前線に飛び込み、これが栄養の出番じゃないかと奮起して栄養活動をしています。

最前線に出るのが難しいければ、ITを使用した活動もできます。今回の診療報酬改定で情報通信機器を使った外来栄養指導も算定されることになったので、2回目以降であれば電話やネットでの指導が可能です。外来で「今日も来ないね」と待つのではないかと、こちらから「いかがですか」と連絡してみるのでは

す。通常の外来に戻ったときのことでも考え、患者との距離を切らずに保ち、患者の日常を見守りましょう。

経営の考え方で、栄養部門の収入維持を、今は患者数が減り、施設が自由に使えず、収入がどんどん減って病院は最大の危機を迎えています。栄養経営士として今まで培ってきた経営の考え方をもち、無駄を省き支出を抑え、さらにブラッシュアップし、どうしたら収入を維持できるのか、もう一度考えてみましょう。そして正しい情報を知り、免疫力を高めるための十分な栄養を提供し、最前線で主治医や看護師と肩を並べ、今まで通り患者への適切な栄養提供も行い、1日も早い収束を願いつつ、みんなで戦っていければと思います。



宮澤靖代表理事

宮澤靖代表理事

宮澤靖代表理事

宮澤靖代表理事

\*「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド(第2版改訂版)」一般社団法人日本環境感染学会(2020年3月10日発表)

一般社団法人 日本栄養経営実践協会 主催

10年後も生き残れる管理栄養士を目指そう！

第10回  
**「栄養経営士」2020年6月7日(日)**  
**資格認定試験**

- 受験料：8,500円(税込)
- 試験会場(予定)：札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡
- 受験資格：管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習はDVD視聴による受講も可能です！

3枚組・特典映像  
 「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索



緊急特集 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 栄養経営士アンケート

感染拡大により栄養部門は今どうなっているのか？

COVID-19感染拡大により、外来患者・施設利用者の減少や院内・施設内での面会制限など、医療機関・介護福祉施設ともに大きな影響を受けている。当協会では全国の栄養経営士・栄養経営サポーターに協力いただきアンケートを実施、勤務先がどのような状況にあるのかをお答えいただいた。

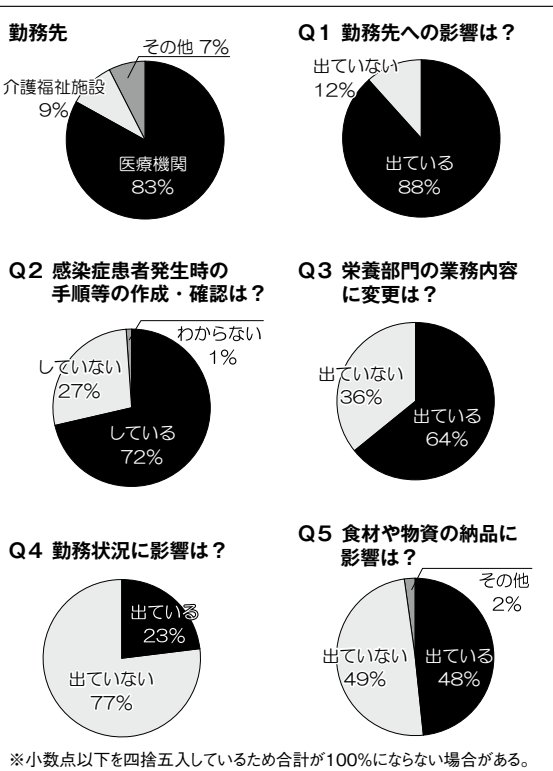
当協会では4月3日(金)に会員650名にアンケートを送付、13日(月)までに届いた95名の回答を元に結果を報告する。

■勤務先

アンケートに回答してくれた会員の8割以上が医療機関勤務であった。介護福祉施設が1割弱、その他としては企業、調剤薬局や学校等から回答が寄せられた。

■勤務先への影響

やはり何らかの形で影響が出ているという回答が大半を占めた。回答が大半を占めた。(金)に会員650名にアンケートを送付、13日(月)までに届いた95名の回答を元に結果を報告する。



■感染症患者発生時の手順等の作成・確認

院内・施設内に患者が発生したときの対応については、7割以上がマニュアルやフローを作成していると答えた。ただし、専門の委員会があり患者への対応方法や動線の分離等

■栄養部門の業務内容

医療機関の栄養部門の業務で影響が一番多かったのは、「外来患者数の減少」「病棟への立ち入り制限」「介護福祉施設では「サービス利用者の減少や提供中止」という答えが多く見られた。

■食材や物資の納品

「医療機関の栄養部門の業務で影響が一番多かったのは、外来患者数の減少、病棟への立ち入り制限、介護福祉施設では「サービス利用者の減少や提供中止」という答えが多く見られた。

■勤務状況への影響

業務自体に大きな変更はなくとも、食堂や通路の利用制限、納品時の手順変更など、小さな変更の積み重ねが担当者の高ストレスにつながることや、チーム内で声を掛け合うなど、フォローを心がけている。

■困っていること、悩んでいること、伝えたいことなど

この状況だからこそつながれる方法もあると思うので、看護師向けに多数あるオンライン勉強会が栄養士向けにも広がるといい。

に決めるものから、「ほぼ保健所の指示通りにするだけ」というものまで、さまざまあった。栄養部

門の対応としては、栄養部門不在時の給食提供マニュアルの作成や委託業者との協力体制の確立、非常食の確保といった回答が寄せられた。

「職員の子どもは休校によりシフト変更があった」であった。感染疑いの職員が出たところも多かったというところも多かった。

現状ではCOVID-19の収束がまだわからず、その影響はしばらく続くことが予想される。収益悪化を余儀なくされる状況ではあるが、患者・利用者にしっかりとした栄養を提供するために、食材や資材の在庫管理、職員の健康や勤務状況の把握、業務内容の見直し、最新情報の入手や周知など、部門のマネジメントに栄養経営士としてのスキルを存分に発揮してほしい。

また、今後のアンケート内容の詳細をまとめた資料を作成し、サイト等を通じて会員の皆様にお届けする予定である。

会員からの生の声

★皆様からいただいたアンケートより一部をピックアップしてお届けします。

- 栄養部門での対策
  - ・栄養管理指針として、栄養サポート室で、ESPENとASPENのコロナに対応した栄養管理声明を翻訳して院内用に要約したものを診療部にメール送信している。
  - ・消毒のため厨房が長期間使用できないことを想定し、栄養部がいなくても食事提供ができるようマニュアルを作成している。
  - ・栄養科内での対応手順に関しては作成中。ただ非常時への食材の確保などは事前に行っている(冷凍食品、調味料、米、流動食など保存がきく食材の前倒し入荷など)。
  - ・病院は直営、附属老健は全面委託で厨房は独立しており、3月末から相互連携について委託業者側に打診した。病院の厨房が機能しなくなった場合(スタッフ減で維持できなくなった場合)については、委託業者の協力を得られる方向で話し合いが進んでいる。
- 困っていること、悩んでいること、伝えたいことなど
  - ・この状況だからこそつながれる方法もあると思うので、看護師向けに多数あるオンライン勉強会が栄養士向けにも広がるといい。

- ・入院患者様の食事が無事に提供できるように、非常用の食材の確保など今の状況でできる対策を講じていきたい。また、ほかの施設での対策なども知りたい。メールやサイトなどを通じて、情報共有を図っていきたいと考える。
- ・ライフラインは問題ないが、大震災の経験が活かされている部分もある。たまたま委託業者と話し合いができていたのは不幸中の幸いといえぬ。こういう状況のときに、再度震災が起こったらと思うと恐怖。複合災害に対応できるほど、病院の体力はないと思う。
- ・医療従事者の安全も確保してほしい。実際に政府の皆さんが現場対応するわけではないから、配慮が不十分と感じる。医療従事者にももう少し配慮をお願いしたい。
- ・昨年末より、インフルエンザ、コロナウイルスとウイルス対策のため、どの病院、施設も患者への面会制限がかかっています。そのため、患者は家族、とくに子どもにも会えない日々が続いてつらい思いをしている人が多いです。家族面会ができないストレスが病状に影響する場合もあるため、1つひとつの声のかけや対応をていねいにを行う必要があると感じています。
- ・多くの職員が自宅待機となってしまった場合、外部仕出し弁当等に依頼した例はあるのか、直営の病院で系列施設もないような病院はどのような対策を考えているのかなど、疑問があり皆さんの対策を聞きたいです。
- ・よりよい未来を創るために、私たち1人ひとりが、状況に応じて考え「できること」、「なすべきこと」を粛々とやり続けることが大切だと思います。平常心で笑顔とユーモアを忘れずに!



# 栄養経営士の現場クローズアップシリーズ 第6回 医療法人松田会

複数の栄養経営士が在籍し、連携しながら働く病院施設などが増えてきました。そんな職場で働く栄養経営士たちをピックアップし紹介するのがこの「栄養経営士の現場クローズアップシリーズ」です。今回は医療法人松田会に所属する、栄養課係長の鈴木奈緒子さんと栄養課主任の鈴木美香さんにお話をうかがいました。

学んだ内容を活かす

院内で栄養経営を実践

1982年の松田病院開設以来、救急医療と高齢者医療を軸として地域住民の健康を支えてきた医療法人松田会。高齢化の進展に伴って多様化するニーズに対応し、現在は2つの病院と6つの診療所、3つの介護老人保健施設、17の介護保険事業所を展開しています。



栄養課係長を務める鈴木奈緒子さん



栄養課主任の鈴木美香さん

二人が栄養経営士を取得したきっかけは、同法人の事務次長であり、医療経

営士(一般社団法人日本医療経営実践協会認定)の資格を持つ佐竹直也さんから紹介されたことでした。「経営という視点で栄養課の運営や栄養管理を進めていくことについては、時代の流れとともにその必要性を感じていました。事務次長から資格を教えてください、代表理事である宮澤靖先生の活動には以前から魅力を感じていましたので、宮澤先生の考え方をしっかりと勉強して自分たちの病院にも生かしたい」と思い、取得を決めました(鈴木奈緒子さん)。

同法人では佐竹事務次長のほか3名の医療経営士が在籍しており、医療経営士の東北支部研究会にも医療・栄養の両経営士が籍に参加。そこで学んだ自院

の強み・弱みを把握するためのSWOT分析を参加したメンバーで実際に試してみたいところがあるそうです。資格を紹介した佐竹事務次長は「専門職が経営視点を持ってくると非常に心強い。当法人にとって栄養課は強みとなっていて、これからは互いに協力しながら課題解決や経営改善に取り組みたいと思っています」と話します。一丸となつて病院経営に貢献する体制ができていくことが、モチベーションの向上にもつながっているようです。

同じ法人内に栄養経営士がいるということでも、業務においてもメリットを感じているというお二人は、お互いの存在に助けられていると話します。「管理栄養士がたった一人

で、栄養部門の経営や運用について改善や調整を行っていくというのはとても大変なことです。同じ栄養経営士という視点で各施設の栄養部門の課題について共有し、相談し合える仲間がいるということはとても心強いと思っています(鈴木美香さん)。

「普段の業務はもちろんですし、一緒に勉強会などにも参加することで、同じ方向を向いて、共通認識を持って仕事に臨むことができており美香主任には本当に感謝しています(鈴木奈緒子さん)。

さんは急性期から回復期までの医療を担う松田病院に、鈴木美香さんは認知症患者を対象としたエバーグリーン病院に勤務されています。

二人が栄養経営士を取得したきっかけは、同法人の事務次長であり、医療経

営士(一般社団法人日本医療経営実践協会認定)の資格を持つ佐竹直也さんから紹介されたことでした。「経営という視点で栄養課の運営や栄養管理を進めていくことについては、時代の流れとともにその必要性を感じていました。事務次長から資格を教えてください、代表理事である宮澤靖先生の活動には以前から魅力を感じていましたので、宮澤先生の考え方をしっかりと勉強して自分たちの病院にも生かしたい」と思い、取得を決めました(鈴木奈緒子さん)。

同法人では佐竹事務次長のほか3名の医療経営士が在籍しており、医療経営士の東北支部研究会にも医療・栄養の両経営士が籍に参加。そこで学んだ自院

の強み・弱みを把握するためのSWOT分析を参加したメンバーで実際に試してみたいところがあるそうです。資格を紹介した佐竹事務次長は「専門職が経営視点を持ってくると非常に心強い。当法人にとって栄養課は強みとなっていて、これからは互いに協力しながら課題解決や経営改善に取り組みたいと思っています」と話します。一丸となつて病院経営に貢献する体制ができていくことが、モチベーションの向上にもつながっているようです。

同じ法人内に栄養経営士がいるということでも、業務においてもメリットを感じているというお二人は、お互いの存在に助けられていると話します。「管理栄養士がたった一人

で、栄養部門の経営や運用について改善や調整を行っていくというのはとても大変なことです。同じ栄養経営士という視点で各施設の栄養部門の課題について共有し、相談し合える仲間がいるということはとても心強いと思っています(鈴木美香さん)。

また「外来栄養食事指導料」「在宅患者訪問栄養食事指導」の要件が見直されるなど、今回の改定では在宅分野においても栄養部門にとつて動きがありまして。活動のフィールドが拡大していることを実感していると話す鈴木奈緒子さんは「在宅患者へのサポートをしっかりとやるために、もちろん、キッチンと食べられているのかを把握するなど、他職種とも連携しながらきちん

と対応できる体制を整えていきたい」と今後の目標を語ります。「当法人は急性期から在宅まで貫いてサービスが提供できるという強みがあります。それぞれのフィールドで管理栄養士が食・栄養の力でサポートし、地域の方が安心して住み続けられるように貢献していければと思います。地域での横のつながりも増やしながら、いいところを吸収しながらスキルアップしていきたいです(鈴木奈緒子さん)。

「食・栄養の力で人に幸せだと思っていたんだけど、こういう思いでこれまでも取り組んできました。せっかく栄養経営士の資格を取ったので、資格を生かして病院のために役立てることが何かないか、常に考えながら仕事をしていきたいと思っています(鈴木美香さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「これまで他院、他施設に転院される際には情報提供書を作成して送ってはいましたが、特に加算があるわけでもなかったですし、自分たちが患者さんの転院や退院を把握できておらずに情報提供がもれてしまうこともありま

た。今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

**病院概要**  
 医療法人松田会 松田病院  
 宮城県仙台市泉区実沢字立田屋敷17-1  
 022-378-5666  
<http://www.matsuda-hp.com/>  
 病床数：一般77床(うち地域包括ケア28床)、回復期リハビリ48床



医療法人松田会の栄養経営士と医療経営士のメンバー(右端が佐竹直也事務次長)

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。

「今回加算がついたというところで、改めて患者さんのためにもしっかり情報をつないでいくという意識を持つことが重要だと思っています。きちんと情報を共有できることで、誤嚥性肺炎のリスクを下げ、再入院の防止にもつながります(鈴木奈緒子さん)。



栄養経営士が知っておきたい!

# イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

## セミナー情報

『嚥下評価と食事介助技術のコツ』ワーク&実習セミナー  
～誤嚥・ムセを少なくし、安全・安心を得られる食事介助技術～  
あなたの食事介助技術が効率的で楽しい食事時間をつくる!

ムセ込み・誤嚥を防ぎ、安全で楽しい食事時の介助テクニックの基本を身に付けることを目的とし、口から食べるための包括的支援スキルとして開発された「KT(口から食べる)バランスチャート」の実際と事例を交え解りやすく学びます。

- 日 程：2020年6月14日(日)12:30～16:00
- 講 演：金 志純氏(社会福祉法人鶴風会東京小児療育病院)
- 参加費(税込)：7,700円
- 会 場：BIZ新宿 研修室A  
(東京都新宿区西新宿6-8-2)
- 定 員：30名
- お問い合わせ：株式会社WinWin  
E-Mail:info@winwin-japan.com

## セミナー情報

### 第1回 岐阜県多”食”種連携研究会

多職種による「岐阜県多”食”種連携のいま、そして未来」をテーマにしたディスカッションや、摂食嚥下障害に関する特別講演が予定されています。参加者は日本摂食嚥下リハビリテーション学会他、学会の認定単位も取得できます。

- 日 程：2020年7月24日(金・祝)13:00～17:00
- 講 演：藤島一郎氏(浜松市リハビリテーション病院病院長)
- 参加費(税込)：【一般】1,000円
- 会 場：朝日大学医科歯科医療センター 6号館2階6202講義室  
(岐阜県瑞穂市穂積1851-1)
- お問い合わせ：医療法人社団登豊会 近石病院 歯科・口腔外科  
担当:中澤  
FAX:058-294-7380

## 学会情報

### 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会

『「人は血管とともに老いる」からの脱却～動脈硬化予防から健康長寿へ～』をテーマに、会長講演、特別講演、シンポジウム、カンファレンス、市民講座等が行われます。

- 日 程：2020年7月17日(金)～18日(土)
- 講 演：葛谷雅文氏(名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学)  
室原豊明氏(名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学)ほか
- 参加費(税込)：メディカルスタッフ:6,000円(予定)
- 会 場：名古屋国際会議場(名古屋市中区熱田区熱田西町1番1号)
- お問い合わせ：株式会社コングレ中部支社内 運営事務局  
E-Mail:jas52@congre.co.jp

## 協会事務局より

### 2020年4月期限の会員の皆さまへ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

2020年4月で年度会費の有効期限、会員資格の有効期限を迎える会員の皆様、年度会費の納入・会員資格更新のお手続きはお済みでしょうか。事務局ではまだ受け付けておりますので、ご確認およびお手続きのほど、よろしくお願い申し上げます。

- 対 象 者：有効期限が下記の「個人正会員」、「栄養経営サポーター」  
年度会費:2019年4月20日～2020年4月19日  
会員資格:2017年4月20日～2020年4月19日
- 年度会費：【個人正会員】10,000円  
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：【個人正会員】15,000円(年度会費込み)  
※申請書類・課題をご提出ください。  
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会  
TEL:03-5289-7021

# 「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

**DVD視聴による受講が可能!**

☆3枚組、特典映像付き☆

**栄養経営士も会員価格で聴講できます!**

(こんな方におすすめ)

- ・会場で受講したが、内容を復習したい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1:90分、DISC 2:73分)

- 1.院内・施設内における栄養部門の現状分析
- 2.目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
- 3.業務の質を高めるためのアウトカム分析
- 4.「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
- 5.適材適所の組織マネジメント
- 6.病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3:約30分)

観てわかる!近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

■講 師：宮澤 靖 代表理事ほか

■受講料：8,500円(税込) 会員価格：3,850円